

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



5月のアルミ概況及び6月の見通し (3)

## 予想レンジ

LME現物後場買い	2,400-2,600ドル	●
スクラップ	据え置きから+5円 (前月最終価格より)	★
為替	107-110円 (1か月間TTM)	円高

## 国内概況まとめ

## 自動車生産

生産動態統計によると4月の自動車生産台数は前年比+64.8%の67万9761台。輸出は+80.5%。

## 自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると5月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+30.9%の19万3750台。

## 内訳

乗用車	+34.1%
貨物	+15.5%
バス	-13.1%

## 住宅着工戸数

4月の新設住宅着工は、分譲住宅は減少したが、持家及び賃貸家が増加したため、全体で前年同月比7.1%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.3%の増加。

## アルミ圧延・押出生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+91%、16万6918t。4か月連続プラス。

板類	10万6101t	+11.2%	4か月連続プラス
押出類	6万817t	+5.5%	2か月連続プラス

## アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比+34.3%、7万1074t。6か月連続プラス。出荷は+30.3%、7万1082t。6か月連続プラス。

## 輸出

アルミ新地金が前年比+17.4%の121t。2次合金が+42.2%の1772t。スクラップが+138.4%の3万2439t。アルミ缶が-7.5% 9291t。

## 輸入

アルミ新地金が前年比+6.8%の11万9126t。2次合金が+15.9%の9万7852t。スクラップが+42.9%の517t。合金スクラップが+24.6%の3813t。

## 見通し

## 自動車

4月の自動車生産が+64.8%。5月国内販売台数が前年比+30.9%。生産急増は半導体不足の影響はないとの認識。販

売も増。今後生産、販売共に増加していくか注視。

## アルミ圧延・押出生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+91%、16万6918t。4か月連続プラス。今後プラスが続くかの動向に注視。

## アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比+34.3%、7万1074t。6か月連続プラス。出荷は+30.3%、7万1082t。6か月連続プラス。

- ・アルミ輸出は相場の急騰や外需が比較的好調なことを受けて大幅増。
- ・アルミ輸入は国内自動車販売の好調から大幅増。

## スクラップ景況予想

流通在庫はLME価格が2500ドル近辺で高止まりしていたが、2300ドル台まで一旦下落したことから放出があり玉不足は多少緩和。

要面に関しては前月に続き販売が堅調な事による材料不足や国際相場の高騰からの輸入玉の不足からメーカー在庫は気薄。

## LME・為替予想

今月も、①米経済、景気対策と、②中国の景気動向に左右される。

①に関しては、バイデン米政権が28日、6兆ドル(約659兆円)規模の予算案を発表したことから米景気は回復傾向が続くのではないかと。経済や国民生活における連邦政府の役割を拡大させる方針でインフラや公衆衛生、教育への支出を大幅に増やす一方、企業や富裕層への増税を求める内容となった。

②に関しては、中国政府による原材料高騰への取り締まり強化策や31日でSHFEは5月中国の公式購買担当者景況指数が製造業で510と前月の511からわずかに低下。原材料高騰が影響しているものと思われることからこれ以上の高騰には心理的ブレーキがかかるのではないかと。

これらを踏まえた4月のアルミ価格は、2400-2600ドル(セツル)との予想。ドル円値は107円-110円(TTM)台を予測。スクラップ購買価格に関しては据え置きから+5円程度と予測している。

(おわり)

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)